

平成 26 年度全国老人福祉施設研究会にて

中野もも管理栄養士・臨床栄養師が

「入所から最後まで NST で支える

～特養における NST(栄養サポートチーム)の取り組み～」と題して

研究発表を行い「優秀賞」を受賞しました。

実践研究発表(優秀賞・奨励賞)の紹介

2日目 分科会



中野ももさん

閲覧できるようにしている。3カ月に一度は、医師と管理栄養士が全利用者の体重グラフを用いて栄養状態のモニタリ

入所から最期まで NST で支える ～特養における NST(栄養サポートチーム)の取り組み～

優秀賞

介護職、相談員、医師、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員、外部訪問スタッフとしての歯科衛生士など、多職種が勤務する当施設では、情報共有が不可欠と感じ、平成 23 年から、全職種が情報共有をする多職種ラウンドを週 1 回開催している。平成 25 年からは、栄養課が「愛全園 NST」として、ラウンドの運営を引き継いでいる。

全利用者を対象として年間スケジュールを組み、少なくとも年に 1 回はラウンドを実施。褥瘡がある利用者は毎週ラウンドを行う。1 回のラウンド人数は 3 ～ 5 人。対象者の居室前で各職種より情報提示、ケアの方向性を議論したうえで、利用者とのコミュニケーションをとりながら、方向性を決定する。必要があれば、何度でも介入する。

後日、管理栄養士が内容を「情報シート」にまとめ、栄養状態の評価指標を加え、ファイルに綴じ、

第 1 分科会 科学的介護の実践(地域介護の拠点として)
分科会 ⑥ 医行為(嚥下吸引・経鼻栄養等)・リハビリテーションの実践
特別養護老人ホーム愛全園(東京都)
中野ももさん(管理栄養士・臨床栄養師)

奨励賞

特別養護老人ホーム
白梅の杜
(熊本県)
下川和也さん

特別養護老人ホーム
田富荘
(山梨県)
丸山 舞さん
清水久二雄さん

グと評価を行い、要ケア者を中心に、栄養ケア計画の見直しを行う。活動を通して他職種間の情報共有の場が増え、対応のスピードがアップした。QOL の保持や増加にも有効となった。医療現場と異なり、長期的に何度でも最期まで介入できるため、対象者のその人らしさの実現に貢献できると自負している。

【NSTラウンドの流れ】

